



令和2年（2020年）第28週 2020年7月6日（月）～2020年7月12日（日）

熊本市 感染症発生動向調査 速報

国立感染症研究所
サイト



●被災地・避難所へボランティアに行かれる方の感染症予防について

被災地では避難所での密集した集団生活による感染症が流行したり、汚水・汚泥・土ほこりを原因とした感染症に罹患するリスクがあります。ご自身が感染症にかからないように、また、被災地に感染症を持ち込まないために、以下の点にご留意ください。

国立感染症研究所 「九州の被災地域において注意すべき感染症について（一般的な注意事項まとめ）（2020年7月7日現在）」より参照

- ◆新型コロナウイルス感染症の関係で、被災地への出発前14日間に集団での会食や会合等で多数の方と接触した方やご自身に新型コロナウイルス感染症を疑う症状（発熱、咳、のどの痛み、息苦しさ、強いだるさ、下痢、味覚異常、嗅覚異常）がある場合はボランティアを控えてください。
- ◆ワクチンで予防できる感染症に関しては、母子（親子）健康手帳などでご自身のワクチン接種歴を確認し、望ましいと考えられるワクチンについては、可能な限り出発前に接種してから現地に向かってください。
- ★ワクチンで予防できる感染症 ◎麻疹・風疹混合ワクチン、○破傷風トキソイドワクチン ※特に創傷を負う可能性がある作業に従事する場合や昭和43年以前（破傷風の予防接種を受けていない世代）に生まれた人には接種を強く推奨されます。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。
- ◆活動期間中は、ご自身の体調管理（毎朝の体温測定等）を行い、活動期間中の訪問先、面会者等の行動記録を取ってください。行動記録は、活動地域で新型コロナウイルス感染症が発生した場合の迅速な対応に役立ちます。
- ◆流水と石鹸による手洗いをしてください。特に、食事前、調理前、トイレ使用後の手洗いは重要です。流水による手洗いができない場合は、目に見える汚れが無ければ、擦式アルコール性手指消毒薬で手指消毒をしてください。
- ◆土ほこりや他人の咳などによる感染を防ぐため、サージカルマスク、N95マスク、防塵マスク等を着用してください。マスクで鼻と口の両方を覆って隙間がないように正しく着用してください。
- ◆水たまりがあると、蚊が発生します。野外の容器など、可能な限り水たまりを作らないようにし、野外活動を行う際には、蚊やダニによる感染症（日本脳炎、日本紅斑熱、ツツガムシ病、重症熱性血小板減少症候群など）、汚水や汚泥による感染症（レジオネラ症、レプトスピラ症など）についても注意が必要です。森林や草地等に行く場合や、屋外での活動時は、肌の露出が少ない服装をすることが重要です。ディート（DEET）やイカリジンなどの有効成分が含まれている虫よけ剤を使うなどの防御方法をとるようにしましょう。汚水や汚泥からの感染予防には、直接触れることのないよう、手袋や長靴等を着用しましょう。熱中症にもなりやすいので、休憩や経口補水液など水分や塩分をこまめにとりましょう。
- ◆被災地ではマスクや擦式アルコール手指消毒薬などが不足している場合があります。ご自身で使用されるマスクや手指消毒薬、手袋や長靴、虫よけ剤などは、十分な数を予めご用意ください。また、ご自身の体調管理のため、体温計を持参してください。

期 間		2020年 27週		2020年 28週	
		6/29～7/5		7/6～7/12（最新）	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症		0	0.00	0	0.00
咽頭結膜熱(プール熱)		2	0.13	3	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		8	0.50	16	1.00
感染性胃腸炎		35	2.19	27	1.69
水痘(みずぼうそう)		6	0.38	1	0.06
手足口病		1	0.06	5	0.31
伝染性紅斑(りんご病)		1	0.06	0	0.00
突発性発しん		15	0.94	16	1.00
ヘルパンギーナ		0	0.00	5	0.31
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		1	0.06	2	0.13
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		4	0.80	9	1.80
細菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		0	0.00	0	0.00